



Special Olympics

Be a fan™

2014年度 ルール変更 対照表

競技名：サッカー

変更前の内容	変更後の内容
<p>セクションC—競技ルール</p> <p>1. 5人制（屋外）フットボール</p> <p>t. 延長戦・ペナルティキック</p> <p>b) c) 審判がコイントスをし、勝ったキャプテンのチームが先にキックするかどうかを決める。</p> <p>d) 審判がキックの記録を録る。</p> <p>i) ペナルティマークの所からキックを行っている時にゴールキーパーが怪我をし、ゴールキーパーが続けられない場合は、そのチームが、競技ルールに則って交替選手の限度数を超えないという条件で、名前登録がされている交替選手と交替してもよい。</p> <p>k) 各選手がキックを行う。誰かが2回目のキックをする前に、有資格の選手は全員</p>	<p>セクションC—競技ルール</p> <p>1. 5人制（屋外）フットボール</p> <p>5人制（屋外）フットボールは、競技能力の低いアスリートのために地区レベルでの実施形式として勧められており、世界大会レベルでは実施されない。</p> <p>t. 延長戦・ペナルティキック</p> <p>b) 審判がコイントスをし、勝ったキャプテンのチームが先にキックするかどうかを決める。</p> <p>c) 各チームから試合の終わりに競技フィールドにいる選手から5名選び、その順番を決める。</p> <p>d) キックを5回行った後、得点の高いチームが勝者となる。審判がキックの記録を録る。</p> <p>i) ペナルティマークの所からキックを行っている時にゴールキーパーが怪我をし、ゴールキーパーが続けられない場合は、名前登録がされている交替選手と交替してもよい。</p> <p>k) 試合が終わった時に、相手チームより選手の数が多かった場合は、人数を減らし、</p>

1回キックをしていなければならない。

- l) ペナルティマーク位置からキックがされている時は、有資格の選手はいつでもゴールキーパーと交替してもかまわない。
 - m) ペナルティマーク位置からキックがされている時は、有資格の選手と試合役員のみが競技フィールドにいることが許される。
 - n) ユニファイド・スポーツ®でのペナルティキックでは、各チームは、最初にアスリートがキックをし、その後アスリートとパートナーが交替でキックをしなければならない。
-
- a) 2回目の延長戦が終了した時点で競技フィールドにいる選手のみがキックをできる選手として採用できる。
 - b) 各チームから選手5名を選ぶ。各チームはペナルティキックを行う順番を決める。もしチームが4人以下で終えた場合、その残った選手で順番を決めペナルティキックを行う。
 - c) 1蹴りごとにチームを交替しながら、各選手がペナルティキックを行う。
 - d) ペナルティキックを5回行った後、得点の一番高いチームが優勝となる。
 - e) もし、両チームがペナルティキックを5回行った後、両チームが同点あるいは共

両チームが同数になるようにしなければならない。チームのキャプテンは、減らす選手の人数と名前を審判に伝えなくてはならない。審判は、センターサークルにいる両チームの選手の数が同じであるかを確かめなければならない、彼らがキックを行う。

- l) 各選手がキックを行う。誰かが2回目のキックをする前に、有資格の選手は全員1回キックをしていなければならない。
- m) 有資格の選手が全員1回キックをした後は、一巡目と同じ順番で選手がキックしなくてもよい。
- n) ペナルティマーク位置からキックがされている時は、有資格の選手はいつでもゴールキーパーと交替してもかまわない。
- o) ユニファイド・スポーツ®でのペナルティキックでは、各チームは、最初にアスリートがキックをし、その後アスリートとパートナーが交替でキックをしなければならない。

<削除>

に0点の場合は、同じ選手が同じ順番でキックを行い、同じ数だけキックを行った後、片方のチームが相手方のチームより1点多くゴールしているまでキックを続ける。

2. 7人制フットボール

t. 延長戦・ペナルティキック

- a) 2回目の延長時間が終了した時点で競技フィールドにいる選手のみがキックをできる選手として採用できる。
- b) 各チームから選手5名を選ぶ。各チームはペナルティキックを行う順番を決める。もしチームが4人以下で終えた場合、その残った選手で順番を決めペナルティキックを行う。
- c) 一蹴りごとにチームを交替しながら、各選手がペナルティキックを行う。
- d) ペナルティキックを5回行った後、得点の一番高いチームが勝者となる。
- e) もし、両チームがペナルティキックを5回行った時点で、両チームが同点あるいは共に0点の場合は、同じ選手が同じ順番でキックを行い、同じ数だけキックを行った時点で、片方のチームが相手方のチームより1点多くゴールしているまでキックを続ける。
- f) 各チームより選手を5名選ぶ。
- g) 1蹴りごとにチームを交替しながら、各選手がペナルティキックを行う。
- h) ペナルティキックを5回行った後、得点の一番高いチームが勝者となる。

2. 7人制フットボール

t. 延長戦・ペナルティキック

- a) 審判がどちらのゴールでキックをするかを決める。
- b) 審判がコイントスをし、勝ったキャプテンのチームが先にキックするかどうかを決める。
- c) 各チームから試合の終わりに競技フィールドにいる選手から5名選び、その順番を決める。
- d) キックを5回行った後、得点の高いチームが勝者となる。審判がキックの記録を録る。
- e) 以下に示す条件で、両チームがキックを5回ずつ行う。
 - f) 一蹴りごとにチームを交替しながら行う。
 - g) 5回ずつキックすることになっているが、もし、両チームが5回ずつキックする前に、片方のチームが、相手チームが得点可能な点よりも多くゴールをした場合は、キックは中止する。
 - h) もし、両チームが5回ずつキックを終えた時点で、両チームが同点、あるいは共に0点の場合は、同じ順番でキックを行

- i) もし、両チームがペナルティキックを5回行った後、両チームが同点あるいは共に0点の場合は、残りの選手（ゴールキーパーを含む）をも使って同じ順番でキックを行い、同じ数だけキックを行った時点で、片方のチームが相手方のチームより1点多くゴールしているまでキックを続ける。
- j) ユニファイド・スポーツ®でのペナルティキックでは、各チームは、最初にアスリートがキックをし、その後アスリートとパートナーが交替でキックをしなければならない。

い、同じ数だけキックを行った時点で、片方のチームが相手方のチームより1点多くゴールしているまでキックを続ける。

- i) ペナルティマークの所からキックを行っている時にゴールキーパーが怪我をし、ゴールキーパーが続けられない場合は、名前登録がされている交替選手と交替してもよい。
- j) 前述の場合以外は、延長戦があれば延長戦を含む試合の終わりに競技フィールドにいる選手のみがペナルティマークからキックをできる資格がある。
- k) 試合が終わった時に、相手チームより選手の数が多かった場合は、人数を減らし、両チームが同数になるようにしなければならない。チームのキャプテンは、減らす選手の人数と名前を審判に伝えなくてはならない。審判は、センターサークルにいる両チームの選手の数が同じであるかを確認しなければならず、彼らがキックを行う。
- l) 各選手がキックを行う。誰かが2回目のキックをする前に、有資格の選手は全員1回キックをしていなければならない。
- m) 有資格の選手が全員1回キックをした後は、一巡目と同じ順番で選手がキックしなくてもよい。
- n) ペナルティマーク位置からキックがされている時は、有資格の選手はいつでもゴールキーパーと交替してもかまわない。
- o) ユニファイド・スポーツ®でのペナルティキックでは、各チームは、最初にアスリートがキックをし、その後アスリートとパートナーが交替でキックをしなけ

3. 11人制フットボール

q. 延長戦・ペナルティキック

- a) 2回目の延長戦が終了した時点で競技フィールドにいる選手のみがキックをできる選手として採用できる。
- b) 各チームから選手5名を選ぶ。
- c) 一蹴りごとにチームを交替しながら、各選手がペナルティキックを行う。
- d) 5回ずつのペナルティキックの後、得点の多いほうを勝者とする。
- e) もし、両チームがペナルティキックを5回行った時点で、両チームが同点あるいは共に0点の場合は、各チームの残りの選手（ゴールキーパーを含む）が同じ順番で、同じ数だけキックを行った時点で、片方のチームが相手方のチームより1点多くゴールしているまでキックを続ける。
- f) ユニファイド・スポーツ®でのペナルティキックでは、各チームは、最初にアスリートがキックをし、その後アスリートとパートナーが交替でキックをしなければならない。

ればならない。

3. 11人制フットボール

q. 延長戦・ペナルティキック

- a) 審判がどちらのゴールでキックをするかを決める。
- b) 審判がコイントスをし、勝ったキャプテンのチームが先にキックするかどうかを決める。
- c) 各チームから試合の終わりに競技フィールドにいる選手から5名選ぶ。
- d) キックを5回行った後、得点の高いチームが勝者となる。審判がキックの記録を録る。
- e) 以下に示す条件で、両チームがキックを5回ずつ行う。
- f) 一蹴りごとにチームを交替しながら行う。
- g) 5回ずつキックすることになっているが、もし、両チームが5回ずつキックする前に、片方のチームが、相手チームが得点可能な点よりも多くゴールをした場合は、キックは中止する。
- h) もし、両チームが5回ずつキックを終えた時点で、両チームが同点、あるいは共に0点の場合は、同じ順番でキックを行い、同じ数だけキックを行った時点で、片方のチームが相手方のチームより1点多くゴールしているまでキックを続け

4. 屋内サッカー（フットサル）

現在スペシャルオリンピックスの世界大会ではフットサル種目は行われていない。しかし当該国で一般に実施されていれば、その形式による実施を認めている。その場合スペシャルオリン

る。

- i) ペナルティマークの所からキック行っている時にゴールキーパーが怪我をし、ゴールキーパーが続けられない場合は、名前登録がされている交替選手と交替してもよい。
- j) 前述の場合以外は、延長戦があれば延長戦を含む試合の終わりに競技フィールドにいる選手のみがペナルティマークからキックをできる資格がある。
- k) 試合が終わった時に、相手チームより選手の数が多かった場合は、人数を減らし、両チームが同数になるようにしなければならない。チームのキャプテンは、減らす選手の人数と名前を審判に伝えなくてはならない。審判は、センターサークルにいる両チームの選手の数が同じであるかを確認しなければならず、彼らがキックを行う。
- l) 各選手がキックを行う。誰かが2回目のキックをする前に、有資格の選手は全員1回キックをしていなければならない。
- m) 有資格の選手が全員1回キックをした後は、一巡目と同じ順番で選手がキックしなくてもよい。
- n) ペナルティマーク位置からキックがされている時は、有資格の選手はいつでもゴールキーパーと交替してもかまわない。
- o) ユニファイド・スポーツ®でのペナルティキックでは、各チームは、最初にアスリートがキックをし、その後アスリートとパートナーが交替でキックをしなければならない。

4. フットサル

スペシャルオリンピックスでの競技ルールはFIFAにより刊行されたフットサルの現行ルールに従う。

<p>ピックスでの競技ルールはFIFA により刊行されたフットサルの現行ルールに従う。</p>	
---	--